



2020年7月30日

各位

会社名 ソウルドアウト株式会社
代表者名 代表取締役会長 荻原 猛
(コード番号：6553 東証一部)
問合せ先 取締役 C F O 半田 晴彦
(電話番号：03-6675-7857)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年2月10日に公表した2020年12月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2020年12月期通期連結業績予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	23,000	800	—	—	—
今回修正予想（B）	20,500 ～21,500	400 ～500	—	—	—
増減額（B－A）	△2,500 ～△1,500	△400 ～△300	—	—	—
増減率（％）	△10.9 ～△6.5	△50.0 ～△37.5	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2019年12月期）	19,702	723	699	375	36.05

2. 修正の理由

2020年12月期の連結業績については、第1四半期において新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であり、順調に推移いたしました。しかしながら、本年4月に政府より発出された全国的な緊急事態宣言に伴い国内における消費活動が著しく停滞したことから顧客との取引額が減少し、第2四半期において、業績への影響が発生いたしました。緊急事態宣言の解除以降は経済状況の緩やかな回復とともに、新規取引および既存顧客取引額は増加しておりますが、新型コロナウイルス感染症の第二波の懸念等もあり、本格的な回復には至っておりません。

その上で、第3四半期以降の業績について慎重に検討した結果、売上高については前回発表予想の水準を下回り、営業利益については第3四半期以降の本店移転計画等による投資計画なども考慮した上で業績を達成することは困難であると判断いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大の収束見通しが不透明であることから、通期連結業績予想をレンジ形式にて下方修正いたします。

（注）上記の業績予想は本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の決算数値とは異なる可能性があります。

以上